

祝 辞

文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付
学術基盤整備室長 藤澤 亘

このたびは、第83回私立大学図書館協会 総会・研究大会の開催に際し、心よりお喜び申し上げます。文部科学省研究振興局参事官（情報担当）付学術基盤整備室長の藤澤でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

御参加の皆様におかれましては、日頃より、学術文献へのアクセスの確保や学習環境の提供等、大学の教育研究活動を支える重要な学術情報基盤である大学図書館の管理・運営に御尽力いただいておりますこと、この場を借りて感謝申し上げます。

現在、「知」が圧倒的な競争力の源泉となる時代が到来している中、研究データを含む知の共有を目指したオープンサイエンスが進み、教育研究活動のデジタル・トランスフォーメーションの流れが世界的に加速しております。このような状況の中、メインテーマに「学生主体の教育への転換と大学図書館 DX（デジタル・トランスフォーメーション）」を掲げ、今大会を開催されることは、誠に時宜を得たものと受け止めております。

令和3年3月26日に閣議決定された第6期科学技術・イノベーション基本計画では、これまでの大学図書館の機能に加えて、研究データの管理・利活用における支援機能の強化が必要であるとされ、今年度までにその方向性を定めることとされております。また、令和2年9月30日に取りまとめられた「コロナ新時代に向けた今後の学術研究及び情報科学技術の振興方策について（提言）」では、大学図書館におけるより一層のデジタル化の推進とともに、これを通じた支援機能の強化等の必要性が示されております。

このように、大学図書館が新たに担うべき役割が大いに期待されている中、科学技術・学術審議会情報委員会の下に「オープンサイエンス時代における大学図書館の在り方検討部会」が設置され、現在、デジタル・トランスフォーメーションやオープンサイエンスといった我が国の教育研究活動を取り巻く動向や状況の変化に応じた、大学図書館に求められる役割や機能等について審議を行っているところです。皆様には御協力をお願いすることがあると思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、その他の大学図書館に関連する最近の動向を少し御紹介させていただきます。図書館サービスの充実、発展等の御参考になれば幸いです。

まず、ジャーナル問題でございます。昨今のジャーナルを取り巻く状況が拡大・複雑化している中、科学技術・学術審議会情報委員会の下にジャーナル問題検討部会が設置され、令和3年2月に「我が国の学術情報流通における課題への対応について（審議まとめ）」が取りまとめられました。本審議まとめでは、研究者にとって最適な学術情報流通環境を保ち続けるためには、全ての関係機関及び関係者が主体的に問題解決に取り組んでいくことが必要であるとされ、同検討部会から大学等研究機関に要請する具体的な取組が示されました。取りまとめから約一年半が経過したことから、文部科学省では、各大学の対応状況について、現状の調査を行うこととしました。ぜひとも御協力くださるようお願い申し上げます。皆様におかれましては、引き続き、大学図書館に対する信頼と期待に応えるため、大学の執行部の方々とも連携しつつ、問題解決に取り組まれることを期待しております。

次に、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律、いわゆる読書バリアフリー法に関する動向でございます。令和2年7月14日に策定された「視覚障害者等の読書環境の整備

の推進に関する基本的な計画」において、大学図書館は、アクセシブルな書籍等及びこれを円滑に利用できるための支援を充実させ、視覚障害者等によるこれらの利用に係る体制整備を図ることが求められています。これを受け、大学図書館における読書バリアフリーを一層推進するため、国立情報学研究所と連携し、大学で製作された視覚障害者等用のデータの所在情報を共有するシステムを構築しました。今後、本システムの運用が開始された際には、ぜひ御協力・御参画いただけますと幸いです。加えて、学内の障害学生支援室、関連組織等のほか、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスとの連携・活用を御検討いただく等、大学図書館における障害者サービスの充実に努めるようお願い申し上げます。

最後に、学術情報基盤実態調査でございます。本調査は、大学の学術情報基盤の実情を把握し、今後の学術情報基盤の整備に係る政策の立案・推進に資することを目的として毎年実施しておりますので、回答への御協力をお願い申し上げます。

皆様におかれましては、引き続き、関係者とも連携していただきつつ、柔軟な図書館運営を推進いただきますよう、お願い申し上げます。

本総会・研究大会が、皆様にとって有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。